

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181
https://nichiren-monka.org

令和6年10月13日
第70号

共に生き、共に栄えよう

身延山久遠寺第93世

持田日勇



ます。

身延山久遠寺は日蓮宗の総本山であり、日蓮門下全ての祖山であります。

日蓮大聖人が身延の山を霊山浄土であると言われ、この山に墓を建てて欲しい。私の魂はこの山に留まると言われた、私たち日蓮聖人の弟子の根本道場です。

日蓮門下が「此の山を本として参るべし」と云われたお言葉を体して身延山に集まり、身延山を中心とした布教運動を開始するならば、これからの凄まじい早さで変わりゆく世の中に対処して、日蓮聖人の目指された立正安国の実現に近づき、世界平和を築くために貢献できると確信しております。

動の強力な遂行を確認しています。

既に日蓮聖人門下連合会は社会に向かって種々の教化活動を展開してきました。特に日蓮聖人700遠忌に展開した諸事業、日蓮聖人劇の2回による全国公演、オラトリオ日蓮聖人の上演、

日蓮聖人展の開催、青年の船の運航等は日蓮門下教団の一致和合による協力と青年教師の情熱によるものであり、日蓮門下縮素をして結束の喜びを与えたものであります。

その後も東京国立博物館で大日蓮展を開催し、更に日蓮と法華の名宝展を京都国立博物館で開催しました。私も2013年にオラトリオ日蓮聖人を再演しました。

身延山では開創750年を慶讃して仙道作三氏に依頼して『オペラ日蓮の宇宙・曼荼羅世界』を制作して国立劇場で公演をしました。来たるべき宗祖750遠忌には日蓮聖人門下連合会が衆知を集めて検討し、素晴らしい企画をして、広宣流布の一助を成すこと期待しております。

サクラサク

—本堂大改修落慶法要をおえて—

法華宗(真門流)管長
総本山 本隆寺 貫主 上田日猷



御開祖日真和尚御正当

御命日3月29日、朝までのお清めの雨が上がり青空が広がる。午後2時よりの御正大会並びに千団子会を挟み、慌ただしい動きが続く。明るる30日、朝勤後御廟所に参じ、準備万端整いし境内を一周。快晴、見上げれば何と、この日を待っていた如く桜が咲いている。この大事業に関わりし全ての人々を祝福するかの様に。

令和6年3月30・31日、晴天に恵まれ、各地よりの大勢の参詣者を迎え、盛大に本堂大改修落慶法要を厳修することができました。

ここに改めて、物心両面に亘り御支援、御協力をいただいた門末寺院教会住職教師、各檀信徒の皆様、衷心より厚く御礼申し上げます。感謝の意を込め、落慶法

平成22年の準備委員会に始まり、翌23年春「総本山本隆寺大改修委員会」発足。平成24年より事業資金の勸化を開始。国庫補助の対象となり、平成28年11月、京都府教育委員会文化財保護課担当者による本堂半解体根本修理着工。以後7年間の歳月をかけ令和5年秋竣工。この間新型コロナウイルスのパンデミック、異常気象による激甚災害等世情不安でしたが事業は順調に進捗、365年前の美しく

豪壮な姿が甦りました。同12月19日、入仏開堂法要をお勤めし、今般の落慶大法要を迎えた次第であります。御寄進をお願いしてより12年が過ぎ、浄財喜捨に与りました皆様の中にもお亡くなりになられた方がたくさんおられます。両日共午前に寄進物故者法要を営み、仏果菩提を御祈念申し上げます。また、多額の特別寄進をいただきました方々を初め、梁、瓦等浄財を御寄進下された皆様に、御報恩謝徳の意を込め、落慶法

要に続く別座にて御本尊に報告させていただきました。大法要を終え、静かに振り返る中で改めて思いますのは、この一大事業の中で大きな力を発揮した、法華宗真門流青年会の若手僧侶の活躍です。事ある毎に誠心誠意取り組んでくれました。大変有難く感謝に堪えません。開祖500遠忌、高祖750遠忌も控えます。次に向け益々の精進を期待します。

祭りの後の寂しさ、などと言います。安堵の思いはありますが寂しさは感じません。今日も賑やかな音が響いているからです。隣と同じく国の重要文化財、祖師堂の大改修工事が間を置かず始まっています。令和9年秋、完工の予定です。楽しみにお待ちください。

高祖聖人曰く
内には智慧の弟子有て
仏法の深義を覚り
外には清浄の檀越有て
仏法久住す
本門寿量三大秘法の
南無妙法蓮華經

從地ゆじゅつ

◆今般の世の中の状況は、東日本大震災以来「立正安国論」に説かれている状況と酷似しているように思う。

◆「立正安国論」には、大震災の後に台風や飢饉、疫病等の七難がやって来るとあり、日蓮聖人がこの書を著されたきっかけは、正嘉元年(一二五七)に起こった鎌倉大地震である。その後の台風、疫病等の災い、そして内乱、蒙古の襲来に至るまで、日本の存亡に関わる大きな出来事が続いた。

◆今まさに、この令和の時代に「立正安国論」に説かれている事が、再来していると言っても過言ではないような気がする。

◆こういう度重なる災いがやって来るといふ事は、世界中の人々が「正に背き、悪に帰している」からであると言えよう。この現状を終息させる為には、正である法華經の教えを弘め、多くの人が法華經信仰を基盤とする正しい生き方に目覚め、今までの生活スタイル、考え方、価値観を根本から見直す必要があるのではないだろうか。

◆今一度、立ち止まり、正しい判断をし、しっかりと前後左右上下を確認し、より良い生活が戻るよう見つめ直さなければなりません。

◆日蓮聖人門下連合会の目的とは、「日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を強化すること」とある。◆宗派を超え、共に切磋琢磨し、お題目を声高らかに唱えられる事の有難さが身に染み

◆日蓮聖人曰く「異体同心なれば萬事を成し、同体異心なれば諸事叶ふ事なし。一人の心なれども二つの心あれば、其心たがいて成ずる事なし。百人千人なれども、一つ心なれば必ず事を成す。」である。
(京門連 永岡淳道)

洛中最古 重要文化財 365年の時を超え 修復成る

法華宗（真門流）総本山 本隆寺 本堂大改修 落慶法要



令和6年3月30日（土）、31日（日）に総本山本隆寺本堂大改修落慶法要が厳修されました。平成23年にはじまりました総本山本隆寺平成大改修事業の中心事業である本堂大改修は令和5年冬に完了し、この度めでたく落慶法要を行うことができました。

360余年にわたり法華宗（真門流）の根本道場として、僧侶、檀信徒を見守り続けた本堂の大改修という大いなる事業が無事完遂できましたことは、ひとえに仏祖三宝はもとより高祖日蓮大聖人、開祖日真大和尚、歴代先師先哲のお導きの賜物に他なりません。

両日ともに、総本山本隆寺貫主上田日猷猊下導師のもと、午前中に寄進物故者法要、午後から落慶法要が厳修されました。

寄進物故者法要では、当事業に御寄進くださり参詣を心待ちにしておられた物故者の方々への報恩回向が行われました。出仕された僧侶方は、御仏のもとにおられる物故者の皆様のお顔を思い浮かべるように、一名一名のお名前を読み上げておられました。

落慶法要には僧侶をはじめ多くの檀信徒、楽人方が参加し、献灯、献香、献華、献菓、献茶や行道、雅楽演奏等が行われ、ここまで我らをお導きくださった仏祖三宝へ捧げる僧俗一体の莊嚴なるお題目が新たになった本堂に響き渡りました。

また当日、境内には京都ならではの出店や、楽器演奏の奉納が行われ、檀信徒方の笑顔溢れる賑やかな落慶法要となりました。



法華宗（真門流） 総本山

慧光山 本隆寺

〒602-8447

京都市上京区紋屋町 330

TEL 075-441-6567



本隆寺 略史

法華宗（真門流）の総本山で京都西陣の地にあり、慧光無量山本妙興隆寺と号し、略して慧光山本隆寺という。開祖日真大和尚が長享2年（1488）に開創。

後柏原天皇等の外護を得て法運は隆盛するが、天文の法難に遭遇し、諸堂は悉く消失し泉州堺に避難することになる。天文11年（1542）現在の地を得て再興される。その後2度の大火に見舞われるも本堂や祖師堂が焼失を逃れたため、「焼けずの寺」の異名をもつ。

現在大火を免れた本堂（国指定重要文化財）は京都16本山の中で最も古いものとして今日に伝えられ、祖師堂（国指定重要文化財）・番神堂・鐘楼・経蔵・方丈・信徒会館があり、また塔頭八院が境内を取り巻くように薨をならべている。

寺宝に日蓮・日朗・日像等真筆御本尊多数、法華玄論（重文）、法華経開結（重文）、十六羅漢絵像、その他宝物500余点あり。

日蓮宗宗務院

管 長 菅野日彰 財務部長 笠井照永
 宗務総長 田中恵紳 宗務総長室長 秋山文裕
 伝道局長 柳下俊明 禊宗教研究所長 赤堀正明
 総務局長 光岡潮慶 参 与 渡邊義生
 伝道部長 長谷川雄一 参 与 田中智海
 教務部長 川久保光隆 日蓮宗新聞社長 田邊木蓮
 総務部長 畑 栄明

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五
 電話 〇三(三七五)七一一一
 FAX 〇三(三七五)七一八六
<https://www.nichiren.or.jp>

法華宗(本門流)宗務院

管 長 佐藤日賢
 宗務総長 金井孝顕
 教学部長 清水常光
 布教部長 三吉廣明
 総務部長 平田義生
 財務部長 久野晃秀
 企画部長 吉崎長生

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九-一
 電話 〇三(五六一)三〇五五
 FAX 〇三(五六一)三〇五六
<http://www.hokkeshu.or.jp>

顕本法華宗宗務院

管 長 大川日仰
 宗務総長 秋葉敬真
 宗務次長 津村乗信
 庶務部長 秋山事遷
 布教部長 川崎英真
 社会部長 中村文治
 財務部長 島田誠岳
 教務部長 藤崎裕学

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九一)七二七一
 FAX 〇七五(七九一)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 鈴木日慧
 宗務総長 西山英成
 総務部長 牧野秀宜
 企画部長 金原孝達
 財務部長 西山聡高
 教学部長 布施義高
 教化部長 松吉慶憲
 宗務参事 田中隆寛
 宗務参事 田内孝照
 宗務参事 竹内敬雅

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨五-三五-一六
 電話 〇三(三九一)七二九〇
 FAX 〇三(三五七)〇一一一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 亀井日魁
 宗務副総長 植田日事
 宗務副総長 豊田榮次
 教育局長 高須日因
 弘通局長 岡居日実
 総務局長 藤本日唱
 広報局長 指田日行
 財務局長 姫野正文

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地
 電話 〇七五(四六一)一六六代
 FAX 〇七五(四六四)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長 丹治日遠
 宗務総長 西尾弘道
 総務部長 住友公亮
 財務部長 柳下真敬
 教務部長 柳下真敬

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四
[HP honzanyoboji.or.jp](http://honzanyoboji.or.jp)

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上田日献
 宗務総長 堀内浩善
 総務部長 坂本法保
 教学部長 峰尾泉栄
 教化部長 舟積法宏
 社会部長 水野智悠
 財務部長 堀野雅博

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四二)五七六二
 FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長 別所日山
 宗務総長 香川日憲
 総務部長 増田日倫
 宗務部長 吉村日彦
 財務部長 高邊晶啓
 教務部長 山下揮正
 庶務部長 松本真隆

〒602-8418 京都市上京区寺之内大宮東入大本山妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽主 田中壮谷
 理事長 松浦正
 門連理事 森山真治
 門連理事 藤本坦孝
 編集委員 的場春奈

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九-一八
 電話 〇三(三五六)七二二代
 FAX 〇三(三五六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

日本山妙法寺大僧伽

首 座 木津博充
 責任役員 川岸行孝
 同 武田隆雄
 同 長濱行豊
 同 行德行得

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
 電話 〇三(三四六)九三六三
 FAX 〇三(三四六)九三六七

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 別所日山
 副会長 瀬川日照
 理事長 末本樹哉
 副理事長 小田和幸

京門連事務局
 〒602-8418 京都市上京区妙蓮寺前町八七五
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

大阪日蓮聖人門下懇話会

理事長 藤本経尚 事 京藤白應
 副理事長 森田進 事 菅原宏隆
 理事 門谷光瑞 事 下土井龍永
 理事 吉村日彦 事 山田玄精
 理事 木下真良 事 有本智成
 理事 松本知隆 事 船場光隆

〒580-0044 大阪府松原市田井城五一三-一二九
 電話 〇七二(三三二)四四一四 善宗寺内
 FAX 〇七二(三三二)六三三九

「共に生き 共に栄える
共栄運動推進中」

日蓮宗総本山 身延山久遠寺

法主 持田日勇
総務 浜島典彦

〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七
電話 〇五五六(六二)一〇一一
FAX 〇五五六(六二)一〇九四

日蓮宗大本山 池上本門寺

貫首 菅野日彰
執事 木内隆志
役員一同

〒146-8576 東京都大田区池上一一一一
電話 〇三(三七五二)一三三三
FAX 〇三(三七五二)三三五〇

法華宗(本門流)大本山 鷺山寺

貫首 佐藤日賢
執事 渡辺明博
役員一同

〒297-0051 千葉県茂原市鷺巣四八八
電話 〇四七五(二二)二九七八
FAX 〇四七五(二二)三〇三八

顕本法華宗総本山 妙満寺

貫首 大川日仰
総務 土持栄孝
執事 湯原正純
執事 足立幸謙
執事 澤地真也

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九)七七一
FAX 〇七五(七九)七二六七

法華宗(陣門流)総本山 本成寺

貫首 鈴木日慧
寺務所員一同

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一一一一二〇
電話 〇二五六(三三)〇〇〇八
FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

法華宗(真門流)総本山 本隆寺

貫主 上田日猷
執事 永岡悠希
執事 笹木研吾
執事 矢放啓亮
参与 本多信正

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四)五七六二
FAX 〇七五(四四)五六六六

本門法華宗大本山 妙蓮寺

貫首 別所日山
執事 末本樹哉
役員一同

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東妙蓮寺前町八七五
電話 〇七五(四五)三五二七
FAX 〇七五(四五)三五九七

多寶富士山 本山要法寺

貫首 丹治日遠
執事 西尾弘道
執事 住友公亮
執事 柳下真敬

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
電話 〇七五(七七)三三九〇
FAX 〇七五(七七)五九一四
HP honzanyobojor.jp

本門佛立宗本山 宥清寺

住職 木村日覚
二十七世講有
執事 増永清光
事務局長 栢森良道

〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一
電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一

京都八本山会

会本・本山 本法寺 貫首 瀬川日照
大本山 妙顕寺 貫首 及川日周
大本山 本隠寺 貫首 早川日章
本山 妙覺寺 貫首 宮崎日嚴
本山 頂妙寺 貫首 田中日淳
本山 立本寺 貫首 風間日宏
本山 本満寺 貫首 伊丹日顕
本山 妙傳寺 貫首 近藤日康

京都 法華門流懇話会

法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 上田日猷
顕本法華宗 総本山妙満寺 貫首 大川日仰
法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 桃井日英
本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 別所日山
日蓮本宗 本山要法寺 貫首 丹治日遠
法華宗(陣門流) 本山本禪寺 貫主 赤塚日辰
顕本法華宗 本山寂光寺 貫首 大川日仰
本門佛立宗 本山宥清寺 講有 木村日覚

日蓮宗大本山 日蓮聖人出家得度の霊場 千光山 清澄寺

別當 齊藤日敬
執事 宮崎雅宣

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二一一
電話 〇四(七〇九四)〇五二五
FAX 〇四(七〇九四)〇五二七

宗祖御降誕霊場 日蓮宗大本山 誕生寺

貫首 片桐日岳

〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三
電話 〇四(七〇九五)二六二一
FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

日蓮宗霊跡本山比企谷 妙本寺

貫首 鈴木日敬

〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町一一一五一
電話 〇四六七(二二)〇七七七
FAX 〇四六七(二五)六九六七

日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富山法華本門寺根源

貫首 旭日重
参与 鈴木春雄
執事 鈴木春雄
役員一同

〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五
電話 〇五五四(五八)一〇〇四
FAX 〇五五四(五八)〇三〇三

日蓮宗大本山 中山法華経寺

貫首 新井日湛
参与 植田観樹
参与 松本慈恵
参与 關田観亮
参与 土田恵敬
参与 松永慈弘

〒272-0813 千葉県市川市中山二一一〇一一
電話 〇四七(三三四)三四三三
FAX 〇四七(三三四)一七九六

やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺

山主 山田日潮

〒166-0013 東京都杉並区堀之内三十四八八
電話 〇三(三三三)六二四一
FAX 〇三(三三三)五〇〇七

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺

貫首 持田日勇
総務 増田寶泉
執事 富永一道
執事 中川貫泰

〒297-0026 千葉県茂原市茂原一一一〇一
電話 〇四七五(二二)三一五三
FAX 〇四七五(二二)一一七三

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安 瑞輪寺

貫首 井上日修
執事 稲荷泰雅

〒110-0001 東京都台東区谷中四二二一五
電話 〇三(三八二)四三七三
FAX 〇三(三八二)七〇三三



門連時報

祖廟参詣及び身延理事会開催さる

令和6年6月19日(水)、日蓮宗本山身延山久遠寺で、「日蓮聖人門下連合会祖廟参詣・身延理事会」が開催され、全国日蓮聖人門下連合会の顧問・常任理事・理事・監査・大阪門下懇話会理事長等、24名が参加した。

午前11時00分、御廟法務所に集合し、祖廟にて法味言上及び記念撮影。続き久遠寺へ移動し本堂にて法味言上、続いて祖師堂、御真骨堂を参拝、午後1時50分より報恩閣にて理事会が開催された。

田中恵紳理事長が座長となり議題に沿って議事を行う。「令和5年度事業報告」、「令和5年度決算報告」について事務局より報告。決算報告では監査の遠藤文祥師より、監査報告がなされ、一同承認。次に、「令和6年度事業計画案」、「令和6年度予算案」を事務局より提案、一同承認。

続いて、「京都日蓮聖人門下連合会活動報告」が末本樹哉京都門下連合会理事長より、「大阪日蓮聖人門下懇話会活動報告」が藤本経尚大阪門下懇話会理事長よりそれぞれなされた。午後3時00分に閉会。理事会終了後、下部ホテルに移動し午後6時00分より懇親会を開催。出席者同士の親睦と活発な意見交換がなされた。

京都日蓮聖人門下連合会事業開催

宗祖御降誕会

2月16日(金)、京都市上京区本門法華宗大本山妙蓮寺にて、京都日蓮聖人門下連合会主催のもと、日蓮大聖人降誕会が執り行われ、寒さが厳しい中、檀信徒、関係者各聖約100人が参詣した。

法要に先立ち、日蓮宗本山本門法華宗大本山妙蓮寺による講話では、東京国立博物館で開催中の『本阿弥光悦と大宇宙』を題材に、日蓮法華が現世利益を肯定するものであり、他の仏教宗派との違いに目を向け、法華信徒にとっては、日常の暮らしにあって懸命に創作に励むことが功德になる。「功德を積み、法華経に書かれている『娑婆即寂光土』を皆で目指そう。」

立教開宗会と銅像建立百周年

滋賀県大津市比叡山横川定光院で4月28日、京都日蓮聖人門下連合会主催で立教開宗慶讃並銅像建立百周年記念法要が本門

法華宗大本山妙蓮寺別所日山貫首(当会会長)導師の下、執り行われた。

法要に先立ち、日蓮宗満願寺堀田泰寛師による「立教開宗と四仏知見」と題し、誰もが理解できる程解り易く法話が行われ、更には京都日蓮宗寺院婦人会による法華和讃が奉納された。

その後の法要では、若き日の日蓮聖人がご修行された聖地で、京都日蓮門下連合会各貫首ご臨席のもと門下が集い一心に合掌し横川の山にお題目の声を響き渡らせた。

午後からは、源氏物語54帖の中で最後の10帖の舞台となった宇治にある、宇治市源氏物語ミュージアムへ移動し、世界で唯一の源氏物語と平安時代に親しめる華やかな世界を楽しんだ。

第59回夏季大学開催

8月31日、京都市中京区のホテル本能寺に於いて、京都日蓮聖人門下本山会後援・京都日蓮聖人門下連合会主催による第59回夏季大学が開催された。

丁度、台風10号が九州に上陸以来猛威を振るいながらゆっくりと進み京都直撃かと心配しながらの開催ではあったが京都市内の日蓮門下各本山貫首をはじめ、僧俗約70名の参加があった。

台風の影響により第1講の講師である北川前肇師(立正大学名誉教授)はZOOM参加となり「宮沢賢治」〜妹トシとの死別をめぐって〜と題し、仏教における四苦・八苦に始まり、宮沢賢治の理想の世界、法華文学の創作である「雨ニモマケズ、

大阪日蓮聖人門下懇話会活動報告

令和5年度活動報告

○現在の会員数
日蓮宗・法華宗(本門流)・顕本法華宗・法華宗(陣門流)・日蓮正宗・法華宗(真門流)・本門法華宗・国柱会 8団体、153名

①第36回 総会・懇親会(司会：法華宗担当) 出席者22名
日時：令和5年7月4日(火)午後5時
会場：杯杯天山閣(上本町ハイ)

大阪日蓮聖人門下懇話会 理事長 藤本経尚

○その他
日蓮聖人門下連合会身延理事会参加
日蓮聖人門下連合会京都理事会参加
令和6年7月5日開催の総会にて、新執行部が発足
以上の通り報告いたします
令和6年7月31日



ハイタウン3階)
②第31回 報恩合同御会式 参詣者僧侶・檀信徒80名
日時：令和5年11月12日(日)午後2時より修行
会場：谷町 妙法寺(法華宗本門流)
法要：司会 法華宗担当、導師 理事長
法話：日蓮宗 日聖寺住職 藤本静潤師(日蓮宗大阪和泉管区布教師会長)
高座説教 『浄土とは』
③第34回 研修会 参加者21名
日時：令和5年12月8日(金)
会場：谷町 妙法寺
講師：法華宗(本門流)「興隆学林専門学校」時間講師 大正区 妙法寺住職 野坂教翁師
講題：『現代物理学と法華経』
④第26回 本山由緒寺院巡拝日帰りバスツアー
日時：令和6年3月28日(木)バス1台、32名参加
参拝本山：日蓮宗本山 報恩寺様(和歌山県)

▼人事(事務局への連絡日を含む)

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任/退任
令和6.1.25	持田日勇	日蓮宗	相談役	退任
令和6.3.6	河野時巧	顕本法華宗	常任理事	退任
令和6.3.6	秋葉敬真	顕本法華宗	理事	退任
令和6.3.6	小松正学	顕本法華宗	理事	退任
令和6.3.6	津村乗信	顕本法華宗	理事	退任
令和6.3.31	土持栄孝	日蓮宗	幹事	退任
令和6.4.1	中村文治	日蓮宗	理事	退任
令和6.4.1	生駒耀賢	日蓮宗	常任理事	退任
令和6.4.1	武田隆雄	日蓮宗	常任理事	退任
令和6.4.1	上田日瑞	日蓮宗	理事	退任
令和6.4.1	瀬川日照	日蓮宗	理事	退任
令和6.4.1	伊藤信城	日蓮宗	理事	退任
令和6.4.1	藤本経尚	日蓮宗	理事	退任

法華三部経大講義

渡邊寶陽 著

監修 財団法人「法華会」
編集・発行 (株)日蓮宗新聞社

本刊行は小林一郎・久保田正文両先生の『法華経大講座』の精神を引き継ぎ、日蓮聖人が読まれた立場で解説した法華経全巻と開経・結経の要点を概説しています。初学の読者にも容易に理解出来るよう配慮した、やさしい「法華経理解の入門書」です。

- 【第1巻】202頁 開経から法華経へ 開経『無量義経』
 - 【第2巻】518頁 『妙法蓮華経』 序品第一～信解品第四
 - 【第3巻】446頁 薬草喻品第五～安樂行品第十四
 - 【第4巻】455頁 從地涌出品第十五～普賢菩薩勸発品第二十八
 - 【第5巻】165頁+全文検索用USB) 結経『仏説観普賢菩薩行法経』 文字検索対応PDFデータ (索引に替えて)
- ※引用経文(訓読)校訂協力 佐世保本興寺 松本玄経・岩永泰賢&普賢会・九州教化センター各聖



五巻には全索引に替えて全文PDFを収納したUSBをセット

A5判 ハードカバー・ケース入り
※セット内容イメージ

全5巻セット 20,900円(税込・送料別)

